

表と棒グラフの書き方をわかりやすく解説 (整理の仕方と棒グラフ)

整理の仕方 (正の字を使おう)

りんごとバナナとみかんの中で好きなくだものを30人がじゅんばんに答えました。

りんご・バナナ・バナナ・みかん・りんご・バナナ・みかん・バナナ・
みかん・みかん・りんご・みかん・バナナ・みかん・りんご・みかん・
りんご・りんご・バナナ・みかん・りんご・バナナ・りんご・りんご・
みかん・みかん・バナナ・りんご・みかん・みかん

このままだと、ごちゃごちゃで何が一番多いかがわかりづらいよね。
だから整理していこう。

整理するときにべんりなのが「正」の字を書くやり方だよ。
1つ数えるたびに、「正」という字を1画ずつ書いていくんだ。

一 丅 下 正 正
1 2 3 4 5

5より大きい数字は次のようになるよ。

正 一 6
正 丅 7
正 下 8
正 正 9
正 正 正 10



これを使って、表に整理していくよ。

「どこまで数えたか」がわからなくなならないように、数えたら、数えたものをナナメの線などで消していくといいよ。

① 1つめは「りんご」だから、表の「りんご」のところに「正」の字の1画目を書こう。数えた「りんご」は、消しておくよ。

~~りんご~~・バナナ・バナナ・みかん・りんご・バナナ・みかん・バナナ・
みかん・みかん・りんご・みかん・バナナ・みかん・りんご・みかん・
りんご・りんご・バナナ・みかん・りんご・バナナ・りんご・りんご・
みかん・みかん・バナナ・りんご・みかん・みかん

	人数 (人)
りんご	—
バナナ	
みかん	

②次は「バナナ」だから、表の「バナナ」のところに「正」の字の1画目を書こう。数え終わった「バナナ」も消しておくよ。

~~りんご~~・~~バナナ~~・バナナ・みかん・りんご・バナナ・みかん・バナナ・
みかん・みかん・りんご・みかん・バナナ・みかん・りんご・みかん・
りんご・りんご・バナナ・みかん・りんご・バナナ・りんご・りんご・
みかん・みかん・バナナ・りんご・みかん・みかん

	人数 (人)
りんご	—
バナナ	—
みかん	



③次も「バナナ」だから、表の「バナナ」のところに「正」の字の2画目を書こう。

数え終わったバナナを消すのを忘れないようにしましょう。

~~りんご~~・~~バナナ~~・~~バナナ~~・みかん・りんご・バナナ・みかん・バナナ・
 みかん・みかん・りんご・みかん・バナナ・みかん・りんご・みかん・
 りんご・りんご・バナナ・みかん・りんご・バナナ・りんご・りんご・
 みかん・みかん・バナナ・りんご・みかん・みかん

	人数 (人)
りんご	—
バナナ	⊥
みかん	

このように1つずつ数えていって、じゅんばんに「正」の字を書いていくと、表は次のようになるよ。

	人数 (人)
りんご	正 正
バナナ	正 ⊥
みかん	正 正 ⊥

「正」の字を使うと、速く正かくに、数を数えることができるね。



さいごに「正」の字を数字になおしてみよう。

	人数 (人)
りんご	10
バナナ	8
みかん	12

上の表からわかることを考えてみよう。

表からわかること

- ・みかんが好きな人が多い
- ・バナナが好きな人は少ない
- ・合計すると $10 + 8 + 12 = 30$ 人になっている

今回は「30人にすきなくだものを聞いた」ので、もし合計した人数が29人とかになっていたら・・・

数えわすれている人がいるかもしれないね。

ぎゃくに、合計した人数が31人とかになっていたら・・・

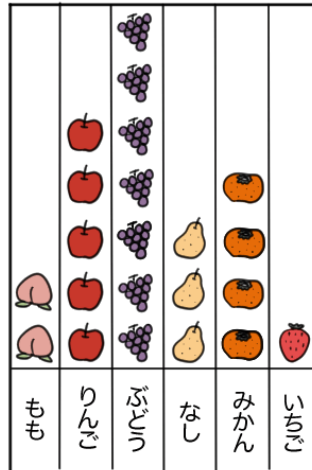
2回数えている人がいるかもしれないね。

数え終わったら、表の数それぞれを合計して、もとの数と同じかどうか？をかくにんすると安心だね。



棒グラフとは

2年生の算数では、数の「多い・少ない」をグラフであらわすことを勉強したよね。



グラフを書くと、それぞれのものが「多いか・少ないか」が、ぱっとひとめで見てわかるんだね。

3年生の算数では、グラフのなかまのひとつ、「ぼうグラフ」がとうじょうするよ。

ぼうグラフとは、数の多い・少ないを、「ぼうの長さ」で表したグラフのことなんだ。

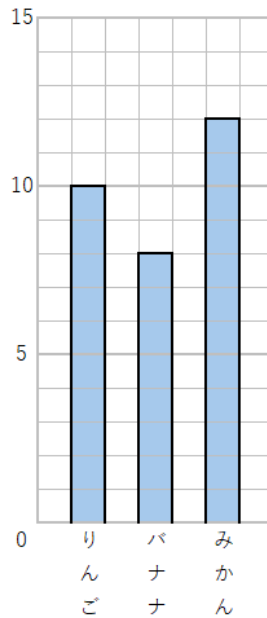
さっき整理した、「すきなくだものの表」を見てみよう。

	人数 (人)
りんご	10
バナナ	8
みかん	12



この表を「ぼうグラフ」であらわすと次のようになるよ。

(人) すきなくだもの



ぼうが長いか短いかで、どのくだものがすきな人が多いのかがぱっと見てわかるね。

ぼうグラフとは

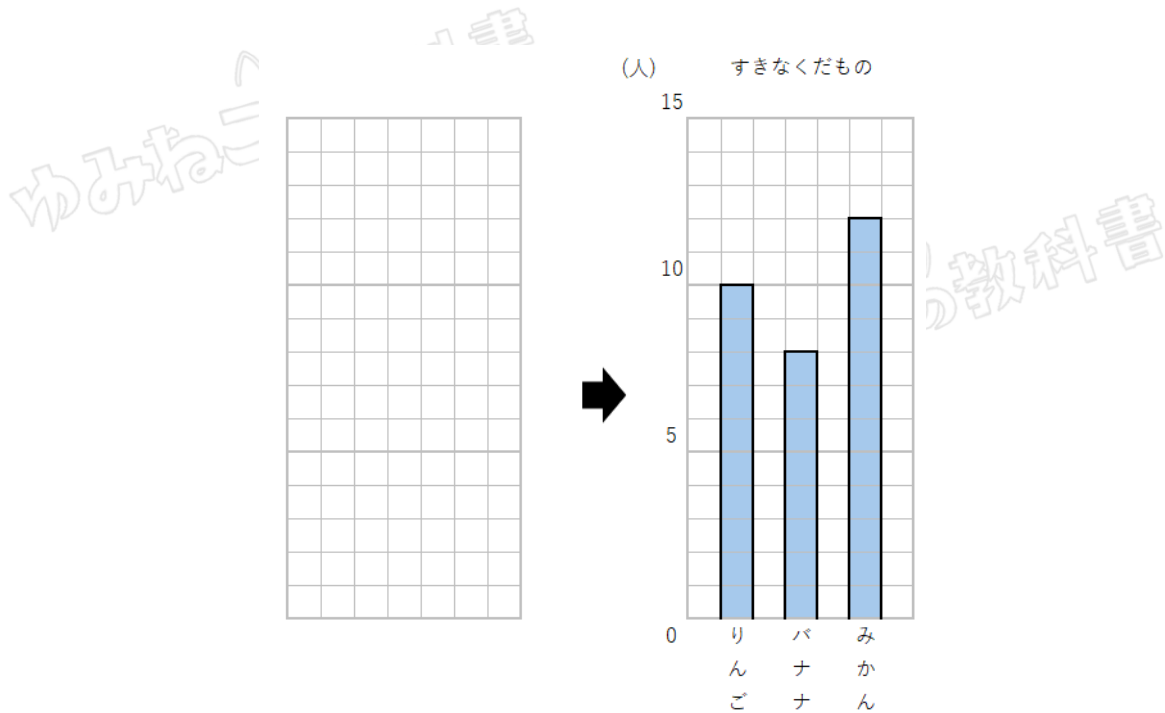
- ・数の多い・少ないを、「ぼうの長さ」で表したグラフ

では、次はどうやってぼうグラフを書くか説明するよ。



棒グラフの書き方

左のマス目から、どうやって右のような、ぼうグラフを作っていくかをせつ明するね。



棒グラフを書くときのルール

グラフは、数の大きさをくらべて、ぱっと見てわかるようにするためのものだから、書き方にはルールがあるんだ。

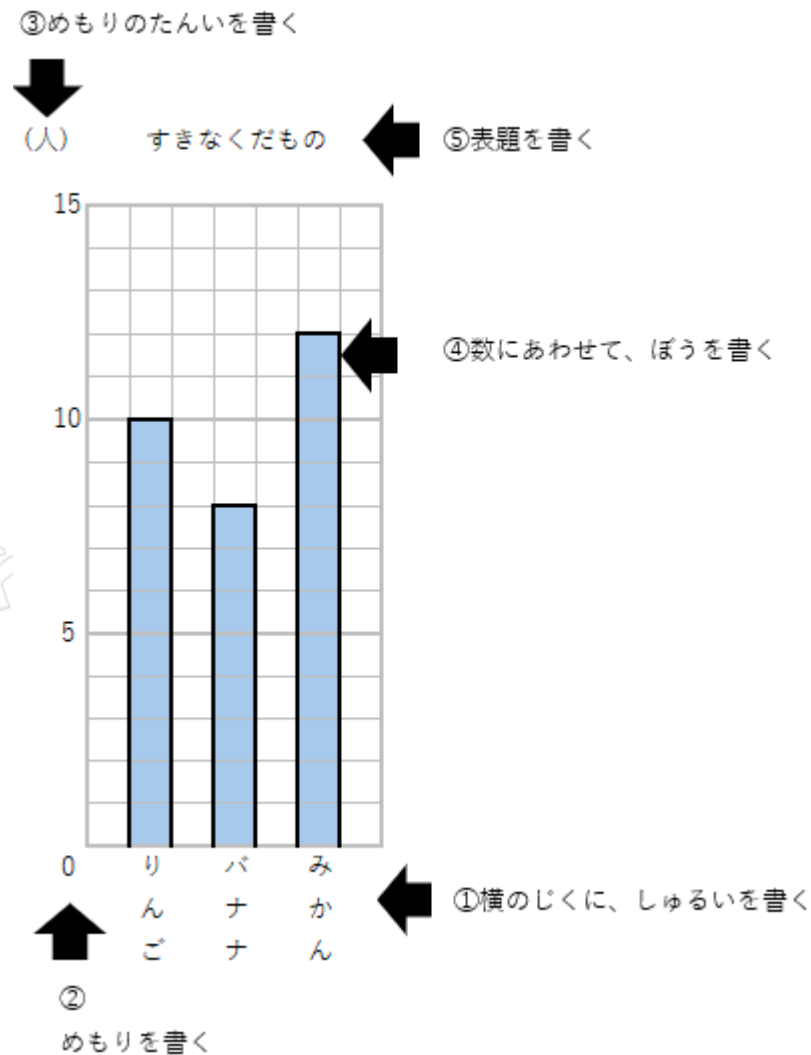
たとえば、「何について調べたグラフなのか」を書いたり、「何と何をくらべたのか」とか、「いくつだったのか」とかが書かれていないと、何をつたえたいグラフなのか さっぱりわからなくなってしまうよね。



なので下のように①～⑤のことを書かなくてははいけないよ。

ぼうグラフの書き方（書くこと）

- ①横のじくにしゅるいを書く
- ②めもりを書く
- ③めもりのたんいを書く
- ④数にあわせて、ぼうを書く
- ⑤表題を書く



1 めもりの大きさをかえる書きかた

さっきのぼうグラフは1めもりが「1人」だったよね。

ただ、人数によっては、1めもりを「2人」「10人」にしたりすることもあるんだ。

たとえば次のようなアンケートをとったとするよ。

下の表は、好きな動物について3年生でアンケートした結果です。

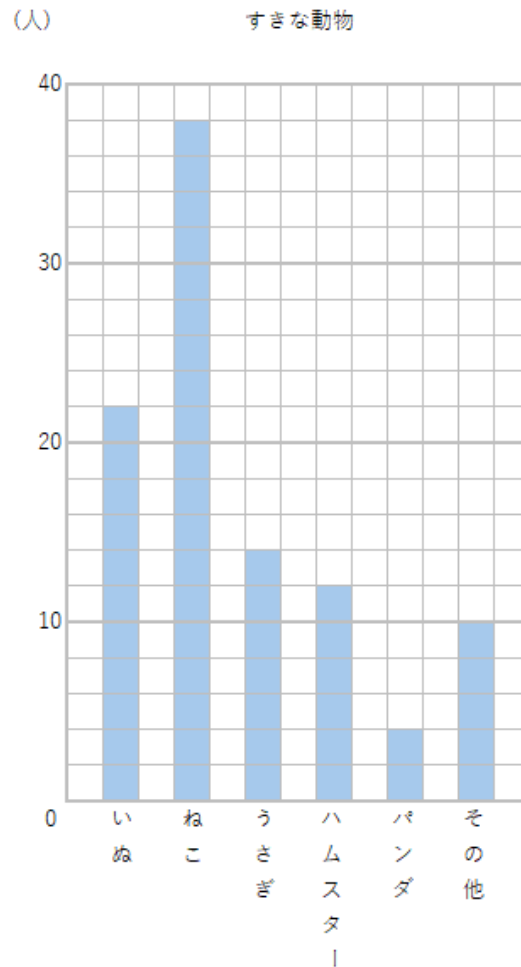
	人数(人)
いぬ	22
ねこ	38
うさぎ	14
ハムスター	12
パンダ	4
その他	10

※表の一番下に「その他」ってあるね。「その他」っていう動物はいないよね。

「その他」というのは、「いぬ・ねこ・うさぎ・ハムスター・パンダ」じゃない動物ってこと。たとえば、「ライオン」「ゴリラ」「モルモット」なんかが好きな人の人数だよ。



このアンケートの結果を ぼうグラフで表すとき、次のように表すことがあるんだ。

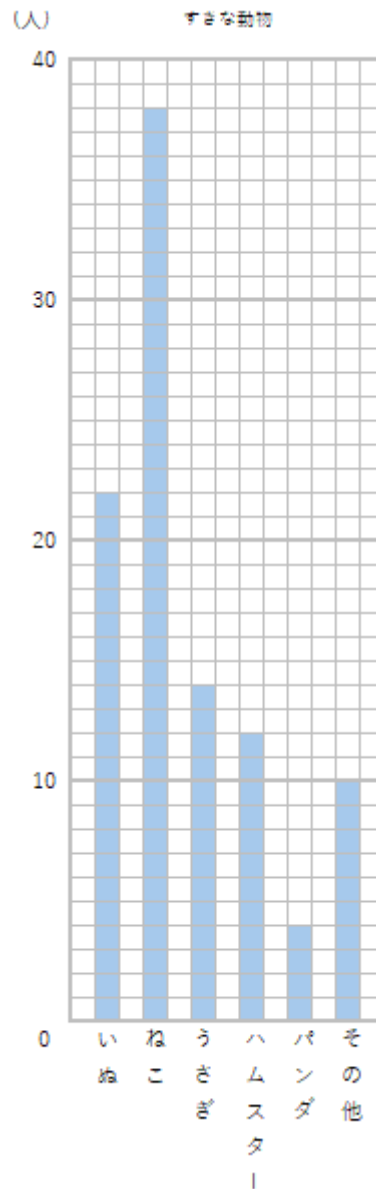


1めもりが2人分になっているかわかるかな？

こうやって1めもりの大きさをかえると、見やすいグラフになるんだ。



もし、1メモリを1人分にしていたら、ながーいぼうグラフができてしまって、書くのが大変だし、とても見にくいよね。



ぼうグラフを書くときは、グラフにするものの数にあわせて、1つのメモリがいくつを表すかを考えるとよいね。



棒グラフを書くときに注意すること

グラフは、数の多い・少ないをわかりやすく、見やすいように表すためのものなので、つぎのことに注意して書かなくてははいけないよ。

ぼうグラフを書くときに注意すること

- ・ ぼうの太さは同じにする
ぼうの太さがバラバラだと、とても見づらいよね。
- ・ ぼうとぼうの間は同じにする
ぼうとぼうの間の広さがバラバラだと、とても見づらいよね。
- ・ 「めもり」のはばは同じにする
1から2は広かったり、2から3はせまかったり、バラバラだと見づらいし、せいかくにくらべることができないね。
- ・ ぼうをならべるときの、始めの位置を同じにする
すべてのぼうの始めの位置をそろえないと、くらべることができなくなってしまうよね。
- ・ ぼうをならべるときの、初めの位置は「ゼロ」にする



「表と棒グラフの書き方」まとめ

- ・ ぼうグラフとは、数の多い・少ないを、「ぼうの長さ」で表したグラフのこと。
- ・ ぼうグラフをつかうと、ぱっと見て何が多いか分かりやすい。
- ・ 数をかぞえるときは、「正」の字をつかって数をかぞえるとまちがえにくい。
- ・ 1めもりの大きさをかえると、ぼうグラフが見やすくなる時もある。

